

薬の効果・作用を、新しい視点から考える 臨床スポーツ薬理学推進機構

会長 | 鈴木 秀典 日本医科大学 名誉教授

臨床スポーツ薬理学は 新しい研究領域です

同じ治療薬であっても、運動の影響によって
身体に異なる効果・作用をもたらします。
「臨床スポーツ薬理学」では、基礎から臨床まで、
身体と薬そして運動の相互の影響について
「臨床スポーツ」と「スポーツ薬理」の
複合的な視点から考えます。



臨床スポーツ薬理学は、
これまで薬理学が蓄積してきた薬に関する知見と、
スポーツ医・科学がもつ臨床医学や運動生理学の知識を繋ぎ、
医療や健康に貢献することをめざした中間領域の研究分野です。
本機構では、この情報を収集するとともに研究推進し、
それらの成果を社会に向けて発信していきます。



臨床スポーツ薬理学推進機構
会長 鈴木 秀典

2001年～2021年 日本医科大学薬理学教授
2011年～2022年 (公財)日本アンチ・ドーピング機構会長

第1回 臨床スポーツ薬理学研究会

開催日

2023年12月3日(日)

共催

一般社団法人 臨床スポーツ薬理学推進機構 (ICSP)
公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構 (JADA)
一般社団法人 日本スポーツフェアネス推進機構 (J-Fairness)

会場

国立京都国際会館 Annex Hall

参加対象

臨床スポーツ薬理学に興味のある方
医師、歯科医師、薬剤師、アスレティックトレーナー、基礎研究者 など

定員・お申込み方法など詳細はこちら

<https://www.icsp.or.jp/conference/>



お問合せ先: contact@icsp.or.jp